

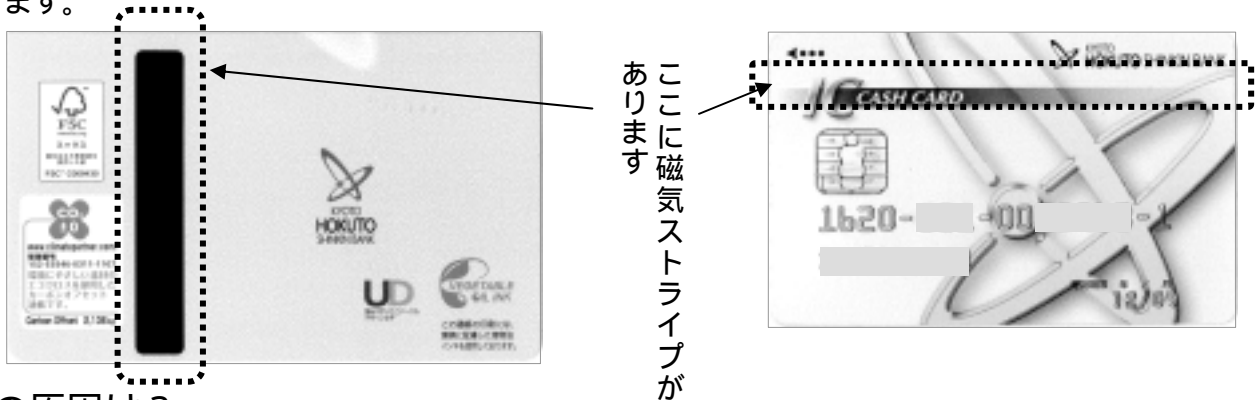
通帳・キャッシュカードの取り扱いにご注意ください

最近、「通帳・キャッシュカードが使えない」という申し出が増えています。

申し出の多くは、通帳・キャッシュカードの磁気ストライプ部が、他の磁気の影響を受けて破損し、使用できなくなるケースです。

磁気ストライプとは？

磁気ストライプは、通帳およびキャッシュカードのそれぞれの下図の点線で囲んだ部分にあります。これらの磁気ストライプが破損すると、ＡＴＭなどの機器が情報を正常に読み取れず、エラーとなる場合があります。



破損の原因は？

磁気ストライプは、磁気によって情報の読み書きを行う記録媒体です。

そのため、他の磁気の影響を受けると破損してしまう場合があります。

破損の原因としては、携帯電話・バッグの留め具、磁気を帯びた製品などの影響が考えられます。

防止策は？

携帯電話・パソコン・テレビ・ＡＶ機器など、磁気のある製品に近づけないでください。

バッグやカバンなどに入れて持ち運びされる際は、携帯電話など磁気のある製品と直接接触しないよう注意してください。

磁気を使用しているバッグの留め具などに、直接接触しないよう注意してください。

磁気を帯びているアクセサリ類などに、直接接触しないよう注意してください。

通帳・キャッシュカードが使えなくなった場合のお手続き

磁気が弱くなっている（ダメになっている）

磁気がよごれている …… など

まずは、磁気ストライプを拭いてみてください。

磁気ストライプが汚れているために、読み取りができない場合は、汚れを落とすことで、再度ご利用いただける場合がございます。

それでも使えない場合は、通帳等をお持ちのうえ、ご来店ください。

窓口で必要な手続きをさせていただきます。

【下記のような磁気製品に近づけないでください】

携帯電話

パソコン

テレビ

ＡＶ機器

磁気仕様の留め具

磁気仕様のアクセサリ